

2013.4

ようやく始まりそうな「ネット選挙」。今の国会で審議されているようですね？

## インターネットで投票？

ネットでの選挙とは、インターネットで投票することではなく、ネットを通じて「選挙運動が可能」になる、ということです。まだ、インターネットを通じての投票には、問題があるようで、そこまでにはもう少しかかるような気がします。

今でも、政党や政治家個人のホームページもありますし、また、ブログなどを通して発言などはされていますが（橋下大阪市長のツイッターは有名です）、選挙公示後はページの更新などが一切禁じられていましたので、選挙活動は従来型のメディアや選挙力一での活動に限られていきました。

それを次回の参議院選挙（今年の夏）から、ネットでの選挙活動を行えるようにしよう、というわけです。

少々遅かった感があります。

## 選挙活動の方法は？

各（政党や政治家個人のページでのPR活動、フェイスブックやブログ、ツイッターなどでの発言の発信。メールでの投票呼びかけなど、様々なツールを使った活動が考えられます。



有権者としても、様々な意見などを目にすることができるので、投票の判断材料としてもとてもいい改革といえると思いま

す。

特にフェイスブックやツイッターは、手軽に候補者が発信し、それを有権者が見るために適するツールと言えます。

将来的にはもう一歩進み、投票ができるようになれば、投票率の向上に一役買えると思うのですが。それには、まだまだクリアしなければならない問題がたくさんあるようです。



## コレを機会に…

参議院選挙を機に、フェイスブックやツイッターなどをはじめてみても良いのではないですか。簡単な登録で使いは始めることができます。フェイスブックは原則実名登録になりますが、ツイッターは匿名でも可能です。

ツイッターは気になる「つぶやき」を「フォロー」していけば良いでしょう。フォローした人がつぶやくたびに自分のページに表示されるようになります。フェイスブックでも気になるページに「いいね」や「フォロー」をしておくと自分のページに表示されるようになります。

まずは、こんな使い方から始めてみましょう。これなら一人でも楽しめます。慣れてくれば、友人などと「友達」になればもっと楽しむことができます。フェイスブックでも大変ので、前月号でも紹介した「Googleリーダー」に登録しておくのがいいでしょう。あたらしい記事が書かれたたびに表示してくれます。



橋下大阪市長のツイッターページ

## せつかくのインターネット

せつかく契約したインターネット環境です。年間4～5万円の費用、決して安くありません。

かと言つてやめてしまつのも不便です。なり、とこどん使つてあげましょう。

使つた時間だけ通話料がかかる電話と異なり、近頃のネット契約は、定額契約が主なのでいくら使うが追加費用はかかりません。

パソコンにスマートフォンやタブレット、インターネットに接続して初めて本領を発揮します。新聞も書籍も雑誌もかなりデジタル化が進みました。音楽も映像もデジタル化されています。多くのテレビ番組もオンラインデマンドで見れるようになってきました。便利な時代に感謝したいものです。